

学科の教育目標

生命工学技術科 バイオサイエンス専攻（昼間部3年制）

養成目的

バイオテクノロジーは、医療・環境・農業・食品・化粧品など多くの分野で必要不可欠な技術となっている。特に動物細胞を扱う技術は、今後の医薬品開発や再生医療分野など多岐に渡り重要な技術であり、業界から強く技術者が求められている。また、バイオテクノロジーの根幹を成す遺伝子取扱技術は、多岐にわたる分野で普遍的技術となっており、本技術を持つことが業界では当然のものとして求められている。また、より普遍的な技術として分析技術がある。これはほぼ全ての業界で必要不可欠な技術であり汎用性では最も高い。本学科は実験技術者として求められる基礎的スキルを徹底して身につけ、その後、基礎・専門・応用という3ステップの実習を中心としたカリキュラムによってこれらの業界で必要とされる高度な技術を学ぶ。充実した国内、国外での学外研修により、実践的に実務に即した技術を学び、業界の求める人材として練磨する。さらに卒業研究により学びえた高度な専門技術・知識を総合的に活用し考え実行する力を身につけ、常に前向きで積極的に対処できる自立したバイオ技術者の育成を目指す。

教育目的（ミッション）

本学科ではバイオサイエンスに関わる分野で求められる基本的な実験技術と、遺伝子工学・細胞工学・分析の各基礎的技術を身につけ、分野に必要とされる専門的な技術を習得し、人間性豊かで自立した技術者（テクニシャン）となるための教育を行うことである。

取得目標資格

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| (1) 上級・中級バイオ技術者認定試験 | (6) 工業英検4級 |
| (2) 毒物劇物取扱責任者〔国家資格〕 | (7) 特許管理士（初級） |
| (3) 危険物取扱者（乙種4類）〔国家資格〕 | (8) 細胞培養士 細胞培養基盤コース I |
| (4) マイクロソフトオフィススペシャリスト検定 | |
| (5) 知的財産管理技能検定3級 | |

就職分野

医薬品、食品、醸造、化粧品、化学、環境、種苗、園芸、動物実験、臨床検査、理化学機器、バイオベンチャー、農業等の分野の企業、公的研究機関、行政機関、クリニック 等

職 種

研究開発、研究開発補助、分析、品質管理、企画開発、生産技術、動物実験、飼育管理、環境調査、技術営業、公務員 等

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
大阪ハイテクノロジー専門 門学校	昭和62年4月1日	近藤 雅臣	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6392-8119																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人 大阪滋慶学 園	昭和62年4月1日	浮舟 邦彦	〒532-0003 大阪市淀川区宮原1-2-43 (電話) 06-6150-1301																				
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																			
文化・教養	文化教養専門課程	生命工学技術科バイオサイエンス専攻	平成27年文部科学省 告示第13号	-																			
学科の目的	医療・医薬、環境、食品などバイオテクノロジーが応用される分野で活躍する技術者を養成するため、学内カリキュラムに加えて業界の先端技術を学べる 学外実習などの業界連携科目によって、業界に求められる人材を養成することを目的とする。																						
認定年月日	平成27年 2月18日																						
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																	
	3年	3390時間	1110時間	90時間	2190時間	0時間	0時間																
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
60人(学科として120人)	46人	0人	4人	19人	23人																		
学期制度	■前期:4月1日~9月30日 ■後期:10月1日~3月31日 都合により、変更する場合がある。	成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 試験の素点、小テスト、実習実技、レポート、出席状況等を総合的に評価する																			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏季:8月4日~9月15日 ■冬季:12月22日~1月12日 ■学年末:1月31日~3月31日	卒業・進級 条件		■所定の科目のすべてに合格し、かつ出席率が67%以上であること。																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 前期・後期にそれぞれ定期面談を実施するとともに、出席状況や成績、授業中の様子や学生からの申出によって、随時個別での面談指導を実施している。	課外活動		■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会執行部・各課部活動 ■サークル活動: 有																			
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) ㈱R-JAPAN(再生医療業界)、ナガセ医薬品㈱(医薬品)、リンパ球バンク㈱(免疫療法)、㈱小倉農山本(食品)		■主な学修成果 (資格・検定等) ※3		■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業生に該当する平成29年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 1年次よりキャリア開発の授業を実施し、インターンシップや具体的な就職指導、面接練習を通して一人一人に合わせた就職先にマッチングさせていく。 ■卒業業者数: 23 人 ■就職希望者数: 23 人 ■就職率: 22 人 ■就職率: 100 % ■卒業者に占める就職者の割合: 95.6 % ■その他 ・進学者数: 1人 ・島根大学 (平成 28 年度卒業生に関する 平成29年5月1日 時点の情報)				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>危険物取扱者</td> <td>②</td> <td>23人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>毒物劇物取扱者</td> <td>①</td> <td>23人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>中級バイオ技術者認定試験</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>上級バイオ技術者認定試験</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>11人</td> </tr> </tbody> </table>		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	危険物取扱者	②	23人	10人	毒物劇物取扱者	①	23人	23人	中級バイオ技術者認定試験	③	23人	20人	上級バイオ技術者認定試験
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																				
危険物取扱者	②	23人	10人																				
毒物劇物取扱者	①	23人	23人																				
中級バイオ技術者認定試験	③	23人	20人																				
上級バイオ技術者認定試験	③	23人	11人																				
中途退学 の現状	■中途退学者 1 名 ■中途率 1.8 % 平成28年4月1日時点において、在学者57名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者56名(平成29年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 経済的事由・家庭環境 ■中途退防止・中途退学支援のための取組 定期面談及び随時の個別面談・スクールカウンセラーの活用・補習授業の実施・転科等の実施																						
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有・無 ※者の場合、制度内容を記入 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 評価受審年月日: 平成24年3月31日																						
当該学科の ホームページ URL	http://www.osaka-hightech.ac.jp/course/bioscience/																						